一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
11人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

新しい翼

加藤 和彦 議員

問 宮城地区の中心である愛子地域の将来の発展性と私案で提起している山の手新都心づくりについて伺う。

答 愛子地域は、今後も優れた居住環境を有する地域として発展しうるものと認識している。新都心構想は、市民の皆様のご意見を伺いながら、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを進めたい。

その他の主な質問項目
○（仮称）錦丘小学校新設と教育環境整備
○広瀬中学校の過大規模解決
○スポーツイベントを生かした観光行政
○将来的産業立地の構想・産業振興の拠点づくり
○松原地区の産業開発構想
○総合医療施設の建設と医療体制づくり

市内で開催されたスポーツイベント

庄司 俊充 議員

問 仙台市の非常勤行政委員の報酬は、業務の実態にそぐわず、見直す必要があると考えるが、当局の所見を伺う。

答 行政委員の報酬は、独立の行政機関の委員としての職責や職務内容などにより額を定めている。今後は、裁判の推移を見据えながら報酬体系のあり方を検討したい。

その他の主な質問項目
○米の戸別所得補償モデル事業交付金が年末までに円滑に交付されることを望む
○本市の口蹄疫予防対策は
○都市計画道路廃止区間地域に対し既存道路整備について積極的な対応をすべき
○期日前投票所を増やし、行財政改革の観点からすべての投票所の投票時間を繰り上げるべき

民主クラブ仙台

小野寺 健 議員

○泉中央地区の渋滞について
・どのような問題意識をもっているのか。対策は
・バスターミナルの改良・新設を検討すべきでは
・駐車場のネットワーク化
○旧泉市の時代からの念願
・地下鉄泉中央駅以北へ鉄軌道の構築を考えるべき
○音楽によるまちづくり
・音楽施策の展開は新たな視点からのアプローチで
・クリエイティブクラスタ

仙台国際音楽コンクール

―事業の現況・成果は
・青葉城恋唄など仙台のヒット曲の利活用を
○仙台市のインバウンド施策
・アジアの海外旅行者獲得に向け、さらなる努力を
・APECの現況・計画は
・国際プロモーション活動について充実強化を

日下 富士夫 議員

問 宮城県沖地震再来に備え、災害時要援護者避難支援プランの全体計画を早急に作成し、モデル地区を想定した取り組みが必要だが見解は。

答 モデル地区の設定・課題の検証と併せ、国のガイドラインに基づき、今年度に全体計画を策定してまいりたい。

その他の主な質問項目
○救急搬送時間短縮のための病院照会サポートシステムの進捗状況と今後の取組み
○MEMSパークコンソーシアムの現状、本市の支援体制強化による産業連携の新展開と新産業創出の見通し
○仙台市民マラソンと仙台国際ハーフマラソンの統合
○マイタウンスポーツ活動推進事業における地域スポーツ振興策

改革フォーラム

大泉 鉄之助 議員

問 財源の裏付けのない現金給付を行う政策はやがて国家を危うくする。「子ども手当」は当の子どもの未来に莫大な借金を残す矛盾した政策だ。市長は、政府が公言するように本制度が少子化歯止めの特効薬や地方経済の活性化に結びつくと額面どおり受け止めているのか所見を伺う。

答 子育て環境の改善などの効果を期待する一方、国の責任で財源を明確にするなどの対応が必要と考えている。

制度の見直しが検討されているが、子どもの健やかな育ちに真に役立つ施策が図れるよう、機会をとらえて国に働きかけなど行ってまいりたい。

その他の主な質問項目
○敬老乗車証制度の見直し
○東北大学総合学術博物館

鈴木 繁雄 議員

問 （仮称）せんだい都市交通プランで将来の交通体系が示され、都市交通の担い手として自転車利用の推進が取り上げられている。しかし、歩行者の安全確保なしに自転車の快適走行などありえず、歩行者の安全確保が自転車走行ネットワーク構築の基本となるべきだ。見解を伺う。

答 自転車利用が特に多い都心部において、歩道も活用しながら歩行者と自転車を分離するなど、安全に配慮した整備を進めるとともに、自転車利用のルール遵守とマナーの向上に向けた意識啓発に今後さらに取り組んでいく。

その他の主な質問項目
○余裕教室の社会的活用策を
○将来を考慮した校舎設計を
○学区の再編統廃合について

自転車利用の推進とともに歩行者の安全確保を（東二番丁通の様子）

公明党

山口 津世子 議員

問 妊婦検診時にヒトT細胞白血病ウイルス抗体検査を行い、母乳育児での感染を防ぐ方策を講じるべき。

答 抗体検査の導入について費用負担のあり方など検討していきたい。

問 七十五歳以上の肺炎球菌ワクチン接種を通年実施すべき。

答 通年接種できる体制の構築を目指し検討中である。

問 前立腺がん検診受診に対する助成の年齢の見直しを。

答 まず受診率の向上が必要と考えており、より一層啓発に取り組んでいく。

その他の主な質問項目
○さい帯血バンクの存続
○子宮頸がんワクチン接種の公費助成のあり方
○ヒブワクチン接種の助成

ATLどんな病気?
HTLV-1（human T-cell leukemia virus type 1）から
赤ちゃんを守りましょう。
HTLV-1（human T-cell leukemia virus type 1）の検査について
ヒトT細胞白血病ウイルス（HTLV-1）は、ヒトT細胞白血病（ATL）の原因ウイルスです。
母親からの感染は、母乳を通じて感染します。
母親が母乳を与えなければ、感染しないことが証明されています。
感染防止のためには、母乳の代わりに粉ミルクを飲ませることです。
ATLの発症は、ほとんどの人は無症状キャリアのままです。
ATLの発症は、ほとんどの人は無症状キャリアのままです。
しかし、